

コラム

「キッズデザイン賞」の内閣府特命担当大臣（少子化対策）賞の創設について

「子ども・子育てビジョン」において、子どもと子育てを国、地方、企業、地域、NPO、家庭、個人など社会全体で応援することが必要とされており、子ども目線でのものづくりの推進（キッズデザインの推進）が掲げられている。

キッズデザイン賞は、①子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、②子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン、③子どもたちを生み育てやすいデザインを顕彰するために「特定非営利活動法人キッズデザイン協議会」が2007（平成19）年度から実施しており、第4回目に当たる2010（平成22）年度からは、経

済産業大臣賞に加え、内閣府特命担当大臣（少子化対策）賞が交付されることとなった。

キッズデザイン賞は3つの基本理念から構成されており、①子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン（「キッズセーフティ賞」、「ユニバーサルセーフティ賞」）、②子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン（「フューチャーアクション賞」、「フューチャープロダクツ賞」）については経済産業大臣賞、③子どもたちを生み育てやすいデザイン（「ソーシャルキッズサポート賞」、「ソーシャルキッズプロダクツ賞」）については内閣府特命担当大臣（少子化対策）賞が授与される予定である。

キッズデザイン賞構成

